

「ホームドラマチャンネル」番組審議会 議事録

インターローカルメディア株式会社
松竹ブロードキャスティング株式会社

開催日時： 2026年1月29日（木曜日）11：30～12：40
開催場所： コートヤード・マリオット銀座東武ホテル 会議室
出席者： 番組審議会委員（敬称略）：
中村歌六／太田博／堀江ミエ子／松本行央／植草信和
田中絵美子／相坂吉郎／村居俊彦
※委員総数10名中8名出席、2名欠席（伊藤信太郎／小野寺重之）
放送事業者（インターローカルメディア株式会社）： 佐藤肇
番組供給事業者（松竹ブロードキャスティング株式会社）：
井田寛／大谷二郎／笹島光晴／鶴澤由紀／深田誠剛／妹尾祥太／小野仁史
山野井崇之／青木侑子

議題：

1. 報告事項

- ・マーケット近況報告
- ・視聴者からの番組内容、編成内容に関する問い合わせ等について

2. 審議事項

「ホームドラマチャンネル」の編成及び放送番組「みごろ！たべごろ！笑いごろ！」に関する審議

- ・「みごろ！たべごろ！笑いごろ！」は子供の頃に夢中になっていた番組であり、ぴったりの世代として非常に懐かしく視聴した。再放送される機会がほとんどなかった番組なので、よくぞ放送してくれたと感激した。
- ・自分の世代（50代～60代）に近い人たちは「これが見たい」という思いが強いように感じる。個人的な嗜好が意外とこの世代にはささるものだと感じた。
- ・過去に地上波のアーカイブ番組のように、昔の歌謡映像やバラエティを放送する番組が増えているが、まだ知られていない、埋もれている番組をもっと発掘して欲しい。
回答→70年代・60年代のバラエティ番組は、権利元がテレビ局ではなく制作プロダクションにあるケースが多く、権利処理や素材搜索のハードルも高いのが現状。しかし、今回の放送で視聴者から好意的な反響を得て加入増にも繋がったため、権利関係がクリアできるプロダクションと連携し、引き続き発掘を進めていきたい。

以上